

市長さん  
あんまり  
です

# 福祉 教育 市民利用施設

## 軒なみ値上げとサービス切り下げ



05年度予算編成にあたって市長に要望書を提出

### 財政難を理由に

### 次々と福祉切り捨て…

これでは地方自治体でなくなってしまう

05年度の予算編成方針が発表されています。

05年度は、400億円の収支不足が見込まれ、その穴埋めのために、これまで横浜市が市民の声に押されて、福祉などのサービス水準を引き上げるために、独自に実施してきた事業を廃止を含む見直し、受益者負担の「適正化」として市民利用施設の有料化と使用料金の値上げ、補助金の全面的な切り下げを図っています。また、民営化・民間委託化など民間活力の活用を積極的に行います。

市側説明によると、在宅重度障害者タクシール金助成の減額、介護保険外サービスの支給上限時間の引き下げ、特別児童手当の廃止、高齢者のインフルエンザ予防接種自己負担の倍額化、ガン検診料や保育料の引上げ、生活保護世帯に対する各種減免の廃止、社会福祉施設等上下水道

使用料減免の廃止などです。

これらは、「弱者」にたいする施策であり、福祉の増進をはかるべき地方自治体が本来やるべき仕事のはずです。かりに収支不足であっても、自治体が自治体でなくなるようなことには手をつけるべきではありません。

また、現在無料となっている地区センターも有料となります。公会堂などの使用料は、値上げです。市民生活直撃の改悪です。

その一方で、横浜の国際競争力を高める都市づくりを重点政策課題とし、都心部の再整備、スーパー中枢港湾指定への対応、高速道路には重点的に予算配分することを言明しています。

「民の力が存分に発揮される社会」が中田市長のキャッチフレーズですが、これでは、大企業は栄えても、市民の力はなされるばかりです。

### 改悪をはね返す世論と運動を上げましょう

障害者の団体は、地域作業所への運営費助成のカットは許せないと早速抗議の声をあげました。

市内の運動団体も、市役所を包囲する行動、市会の各党派への要請行動、本会議傍聴など計画しています。

2月16日から開催される予算議会で、日本共産党は、中田市長に真っ向から立ち向かい、市民いじめの市政をストップするために、広く市民の草の根と結びついた6議席の力を存分に発揮する決意です。

### 学童保育の充実を求めた 四十一万署名踏みにじる

またもや  
自公民多数で

請願の内容は、『放課後キッズクラブ』に置き換えないで、学童保育を継続・充実して欲しい』というものです。

横浜市は、『放課後キッズクラブ』を昨年9月から9ヶ所でスタートしています。

「キッズ」における登録人数は、11月末現在において、1946人でそのうち夕方5時以降の登録人数は46人です。

「キッズ」は夕方5時以降をみるかぎり学童保育に類似していますが、それまでは、すべての児童が対象となっている「はまっ子ふれあいスクール」と同じです。5時を区切り「遊びの場」と「生活の場」が分かれており、留守家庭の児童にとって、心安らぐ居場所として十分機能しているかどうか見極めが必要ですが、しかし、横浜市は、実施ヶ所数をさらに増やす意向を表明しています。

予算が限られているとはいえ、子育て支援という点からも、子ども達



泉区のキッズクラブを視察

の放課後はどうあるべきか、それぞれの事業を利用している保護者や、子どもたちの意見をきちんと聞き、その結果を検証してから、次のステップへ進むべきです。

そういう点からも、学童保育事業の継続・充実を図ることは、趣旨を尊重すべきで、採択するのが議会としてとるべき選択です。

意見も述べないまま不採択とした自公民などは41万人の多数の声をどう受けとめているのでしょうか。

### 横溝市議(民主党)買春「疑惑 解明を求める請願が不採択に

日本共産党は真相解明求め採択を主張

民主党の横溝義久市会議員(港北区選出)が昨年10月、日台親善議員団団長として台湾を訪問した際、「買春容疑」があると写真週刊誌が報じた問題で、12月議会に真相解明を求める請願が提出され、市会運営委員会で審議されました。

「本人が議長に報道のような事実はないと申し出ている」「私的な行動のなかでのこと」「委員会としての究明には限度がある」などと自公民などの多数で不採択とされ、真相解明に蓋をしてみました。議会として委員会への本人出席、特別委員会の設置など議会としてとるべきことを放棄したことに失望の声が市民からあがっています。

しかし、真相究明を求める流れは止められません。市会の女性議員有志は、公開質問状を出しました。横溝議員が所属する民主党の責任を追及する声も強まっています。

こうしたなかで、横溝議員は、議会の役職・基地返還促進特別委員会の副委員長の職を辞しました。

市民の声が生きる市政を

市民アンケートにご協力ください

3月まで実施しています

